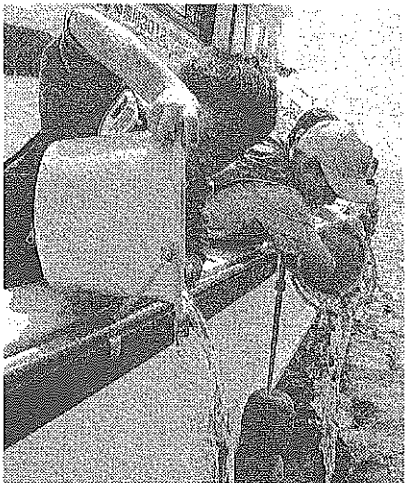


# まちかど

## 児童らヒラメ稚魚放流

平塚市漁業協同組合（後藤勇組合長）によるヒラメの稚魚1万5千匹の放流が14日、同市高浜台の湘南ひらつかビーチパーク沖約500メートルの海



上で行われた。

市立港小（夕陽ヶ丘、伊藤博彦校長）の5年生児童140人が4隻の遊漁船に分乗し、船上からバケツを使って約6〜7歳のヒラメの稚魚千匹を海に放した。写真。また、漁協組合員も1万4千匹を放流した。

ヒラメの放流事業は1992年度から実施。放流1年後

には35センチ、400匹、2年後には45センチ、1キロまで成長する。市場では1キロ当たり2千円前後で取引され、2010年度は約1トの水揚げ（平塚漁港）があったという。